

Aprire

 秋田大学広報誌〈アプリレ〉

No. **48**
2015



特集

大学運営



特集 大学運営

国際資源学部の開設に伴う新体制、そして澤田賢二学長就任から2年目を迎えた秋田大学。平成27年度、国際資源学部・教育文化学部・医学部・理工学部の多様性ある4学部の特徴を最大限に生かし、さらに社会の声に応えるべく、学部・研究科の運営において大学をあげて改革を推進しています。

外部委員を交えた「連携運営パネル」で 学部運営を審議 「いぶし銀」の魅力を目指し、大学改革を推進

学長がリーダーシップを発揮しやすい環境を整えるため、平成26年6月、学校教育法と国立大学法人法の一部が改正されました。法人化から10年、大学改革を推進し、国際的に通用する人材育成やイノベーション（技術革新）創出、地域活性化など、目に見える成果を出していくことが国立大学に強く望まれています。

このような状況を踏まえ、秋田大学は平成27年4月、社会のニーズを汲み取る仕組みづくり、さらに学長の迅速な意思決定と開かれた大学運営を目的に、外部委員を交えて学科編成や教員の人事などの方針を審議する新たな組織「連携運営パネル」を全学部に導入しました。

各カウンスルは10人前後で、企業に在籍する実務家や他大学・機関のトップレベルの研究者など学外者と、学部長など学内者が約半数ずつで構成されています。また、学長は学部長を指名・任命することができ、学部長は学長の意見を聴取することができ、ため学部運営において学長・学部長の意向を反映しやすくなり、権限・執行体制の強化を図ることが可能となります。

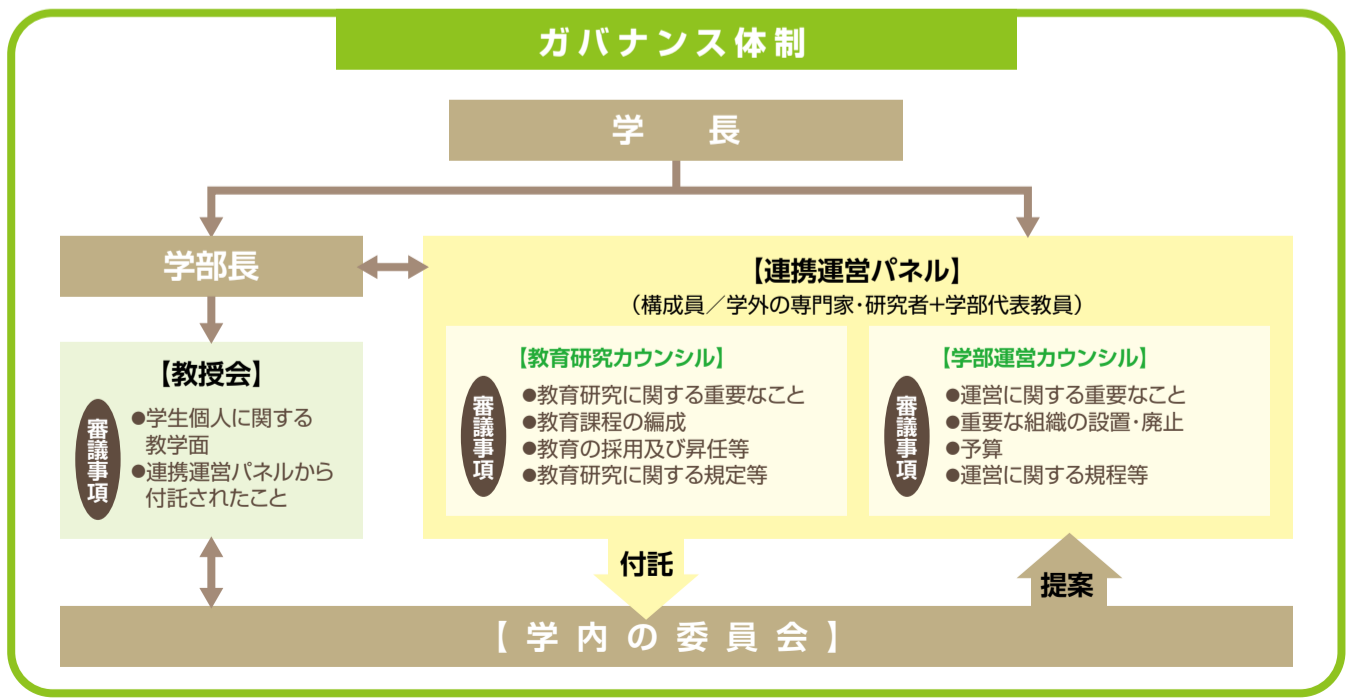
これまでは学生の入学や単位認定、教員の採用や学科の編成など学部運営のほぼ全てを「教授会」で審議していました。学部内の教員のみによる決定構造で、意

思決定の過程が不透明であったこと、学部を構成している教員の大半が全ての審議に加わっていたため、集約的かつ迅速な運営が困難であったこと、さらに教員の教育・研究にかけられる時間を圧迫するなど、多くの課題がありました。今後教授会は、学位授与や試験など学生個人に関する教員面と、連携運営パネルから付託された専門的事項を検討することとし、連携運営パネルとの役割を分担しています。

カウンスル設置で期待される効果として、教授会が多数の学内者で構成されていた以前と比べて意思決定が迅速になり、学長の裁量で改革を進めることができ、外部委員の意見を取り入れることで社会の声を反映した学部運営が可能となり、さらには社会への説明責任を果たすことができます。

が挙げられます。また、これまで学部運営に時間を割かれていた多くの教員が自己の教育・研究に専念できる環境をつくることも狙いとしています。

平成26年4月に開設した国際資源学部では先行して連携運営パネルを導入して、地方の名門と言われる大学を目指していきます。



澤田ビジョン 2014

～世界・地域を視野に入れた独創的な挑戦～

秋田大学の「使命」には、ここに集う人の数だけ、夢の広がり可能性を秘めています



「秋田大学」を支えているのは、四本の太い柱です。国際資源学部。ここを核として、世界との協力・連携を推進していきます。理工学部と医学部はそれぞれの使命を果たすと共に、「医理工」のものづくりを通して地域の活性化や雇用を創出していきます。教育文化学部は最も大切な「人」という「資源」を育てていきます。

秋田大学は地方の基幹的国立大学として、その使

命である教育と研究を推進するとともに、知の創生を通して地域の発展に貢献して参ります。本学が位置する秋田は、全国に類を見ない少子高齢化に直面しています。さらに、自然環境、資源問題、紛争、我が国の国際競争力の低下。対峙する課題すべてに、全球的な視野が求められています。秋田大学はこのような課題に正面から向き合い、地に足をつけて行動していく卒業生を社会に送り出していきます。私たちが目指すのは「いぶし銀」の魅力。輩出する卒業生の姿から、地方の名門と評価されることを目指しています。

激動する明日に向けて、社会を支えるしたたかさや柔軟さを持った個性豊かな人材を輩出し、秋田と日本の明るい未来を創出する。学長の務めはここにあり、多くの仲間と共有する夢でもあります。

平成26年11月
秋田大学学長 澤田 賢一

■世界・地域を見据えたリーダーを育む「教育」

学生が豊かな教養と高い人間性を備えるため、多様で調和のとれた教育プログラムを展開します。

1. 学習者参加による学習者中心の環境づくりを推進します。
2. 教育の質の向上・確保に向けた取組を着実に実施します。
3. 人間力と問題解決力を養う教育の充実を図ります。
4. 総合力と専門知識を備えた高度専門人材を育成します。
5. 入学者受入方針に基づいた学生の獲得と社会人の学び直しを支援する体制を強化します。

■世界・地域を視野に未来を創造する「研究」

基礎と応用、文系と理系など多彩な研究の発展と統合による先進的研究を推進するとともに地域の課題解決に活用します。

1. 医療産業の活性化と人材の育成に向けた医理工連携を推進します。
2. 地域の特性を活かした研究の推進とイノベーションの創出を目指します。
3. 研究活動の支援体制を強化し効果的な研究費の獲得を推進します。
4. 特色を活かした先端的研究を推進し新たな価値の創造に挑戦します。

■地域と共生し豊かな社会を創る「社会連携」

優れた人材の育成、教育研究成果の普及と高度先端医療の推進を通じて社会の期待に応える活動を発展させていきます。

1. 地域共同体の中核的存在として地(知)の拠点整備事業を推進します。
2. 地域における「知の拠点」として豊かな社会づくりの構築を推進します。
3. 地域と共に発展し共に歩むための交流・連携活動を推進します。
4. 教育研究成果を社会へ還元するとともに地域医療の中核的役割を担います。

■地域に根ざし世界を目指す「国際化」

国際的水準の教育研究を遂行し世界で活躍する人材を育成するとともに地域から世界へと幅広い連携を進めます。

1. 国際社会で力強く活躍できるグローバル人材を育成します。
2. 教育の国際通用性を確保し双方向の留学生交流を推進します。
3. 国際的な研究水準の向上と研究環境の国際化を推進します。
4. 地域における多様な国際交流活動との連携を深め、地域の国際化に貢献します。

■教育研究の基盤を支える「大学経営」

学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透し透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指します。

1. 教育研究機能を最大限に発揮するための実効性ある運営体制を構築します。
2. 教職員の活力・組織力を高め戦略的な大学経営に活かします。
3. データに基づいた効率的かつ効果的な大学経営を目指します。
4. 法令遵守を徹底し信頼性の高い健全で適正な大学経営を行います。
5. 環境と共生し安心・安全で開かれたキャンパスの実現を目指します。
6. 学生及び教職員が健康で快適に過ごせる環境の充実を図ります。

世界・地域を視野に入れた独創的な挑戦



今後の大学運営に関する説明会

平成26年11月25日、「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」及び「学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」の概要や今後の大学運営について、教職員に周知するために実施しました。手形キャンパスを本会場、本道キャンパスを中継会場として、インターネット回線を通じて、両会場の映像・音声で双方向通信しました。



はじめに、小川信明理事（総務担当・総括副学長が学校教育法等の改正の概要を説明。続いて、澤田賢一学長が今後の大学運営について述べました。

学長と教員との懇談会

平成26年4月に就任した澤田学長がより多くの教員の声を直に聞きたいという思いから懇談会を企画。毎回3〜4名の教員が参加し、平成26年度は18回開催しました。

平成27年3月19日に行われた回では、国際交流センターに所属する教員3名が参加。澤田学長が懇談会の開催に至る経緯などを話し、参加教員が自身の専門分野や教育研究活動などについてそれぞれ説明しました。終始和やかな雰囲気で行われ、談笑する場面も見られました。

引き続き、平成27年度も定期的に開催し、学長と多数の教員が交流する機会を増やしていく予定です。



ニュース & トピックス

News & Topics

2014.12 ▶ 2015.03

12月 December

1日 イルミネーション点灯(1月末まで)

街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変えようと、秋田大学構内の正門近くにあるインフォメーションセンターで恒例のイルミネーションを点灯し、学生だけではなく地域の方々にも親しんでいただきました。



2日

ポツワナ共和国の駐日大使が表敬訪問

ポツワナ共和国シエイコブ・ディッキー・ンカテ駐日大使ら4名が秋田大学を訪問されました。秋田大学はポツワナの2大学と協定を締結しており、資源開発分野での連携や交換留学を中心とした交流を行っています。



18日

秋田大学混声合唱団 A Choir Christmas Concert



イルミネーションなどで装飾された秋田大学インフォメーションセンターで「Ave Maria」「Joy To The World」などの時期に相応しい曲を、学生の爽やかな歌声でお届けしました。
※秋田大学混声合唱団 A Choir(エース・クワイア)19名の課外活動で紹介しています。

19日

平成26年度秋田大学評価センターFDS Dワークシヨップ



「内部質保証力を高める」多角的な視点から問題と解決策を考える」をテーマとして開催しました。この企画では、教職協働のグループを3つ構成し、現在の秋田大学における教育の問題点と改善策を、グループ間対話による合意形成活動を通じて考えました。

26日

平成26年度大学生・高校生教職体験プログラム(教育ミニミミ実習)(1月8日まで)



横手分校が、秋田大学の学生・秋田県南地区の高校生を対象に実施しました。この取り組みは将来教職を目指している大学生と高校生が、中学生と交流することで自己の適性を知り、将来の夢を実現する一

1月 January

1日 正月用イルミネーションに模様替え(13日まで)

大学は年末年始の休み中でしたが、新たに賀正や謹賀新年のLEDオーナメントを飾り、正月気分を盛り上げました。



歩となる事を目的としています。5日間の活動では、机間指導や実習授業を行い、学生たちが教師の仕事の一端に触れました。

14日

「2nd秋田大学医理工連携」夢を語る会

この会は医学・保健学・工学等の、分野の異なる研究者、メディカル・スタッフ、職員等が一同に集まり、医療・福祉関係者が使用するもの(こと器具・機器・設備・用途など)について自由に「夢」を語り合い、その夢を現実に変えることを目的としています。



19日

「三・生命(いのち)のメッセージ展」秋田大学(23日まで)



被害者等支援の広報啓発活動「三・生命(いのち)のメッセージ展」秋田大学(23日まで) 書館で行いました。主催は秋田県警察、公益社団法人秋田被害者支援センター。学生等に対して犯罪被害者等への支援の広報・啓発を目的に開催。犯罪や事故などで理不尽に生命をうばわれた犠牲者一人ひとりの等身大の人形パネルやご本人の写真、ご家族の言葉を展示。足元には「生きた証」である靴を置いて、命の大切さを訴えました。同時に、平成13年に交通事故に巻き込まれて亡くなった秋田大学生 三浦芳代子(かよこ)さんのお面親から御寄贈いただいた本を陳列しているコーナー「三浦文庫」の紹介も行いました。

17日

秋田市の三吉梵天祭りで理工学部が梵天を奉納



秋田市広面の太平洋三吉神社(以下、三吉神社)で行われた一年の無病息災や商売繁盛を願う「三吉梵天(ぼんでん)祭り」に理工学部が参加し、梵天を奉納しました。

祭りの象徴である梵天は長さ約3m、上部に団体名が記され、赤や白など色とりどりの布や色紙、縄の飾りが目を引きます。今年も地元の町内会や企業、小学校など計80本が奉納されました。理工学部の職員等13名は鉱業博物館に集まり拝礼を行った後、三吉神社へ道徳いをしながら進み、神社へ到着。無病息災等を祈り本殿に梵天を奉納しました。

28日

「[en]JA CANDLE ☆NIGHT〜雪見甘酒とお雑煮〜」

学生と職員がアイスクリームを約300個製作し、キャンデルとイルミネーションの灯りで幻想的な空間を演出しました。アイスキャンデルとは、氷の容器にロウソクを入れたもので、氷に色水やモール等で装飾を施し、目で見て楽しめるように工夫しました。当日は秋田の冬を温かく感じてもらうよう、来場した方へ甘酒とお雑煮のおもてなしも行い、学生や教職員のほか地域の方で賑わいました。



2月 February

9日

大学OBで冒険家、阿部雅龍さんの壮行会

秋田大学卒業生、夢を追う男、阿部雅龍氏(北極圏単独徒歩1000km壮行会をインフォメーションセンターで開催しました。阿部雅龍氏は本学の卒業生で、現在、冒険家として、



14日
**レフチャール・コンサー
ト「成田為三と山田
耕祥の歌曲」**

音楽を専門とする教育文化学部が、60周年記念ホールで開催しました。秋田県立大学文化学部の前身の卒業生である成田為三や日本を代表する作曲家・山田耕祥の歌曲を演奏しながら、歌曲に込められた思いや意図などを解説。また、このコンサートに合わせた、成田為三に関する資料を常設展示しているインフォメーションセンターを特別開館しました。

平成29年の南極大陸単独徒歩1500kmを目標に活動を続けています。この北極圏1000kmの単独徒歩は、平成26年に単独踏破したカナダ北極圏500kmに続く第2弾の取り組みです。壮行会では、阿部氏から内容の説明や意気込み、抱負について語られました。



20日
**第1回「大学運営
セミナー」**

国立大学改革プランやミッションの再定義を踏まえて機能強化に取り組み、高い付加価値を生み出すことが求められている中、外部有識者の講演を通じて最新情報や動向を捉え、大学運営に生かすことを目的に開催。約160名の教職員が参加しました。

講師に東京国立博物館館長の銭合眞美氏(元文部科学省事務次官、本学経営協議会委員)を招き、「地域における国立大学の役割」秋田を、日本を、世界を動かす人間を育てる」と題して講演されました。銭合氏は、大学が置かれている状況や、近年の大学改革の流れなどについて説明。大



19日
**第1回「ライフ
ワークについて
考える会」**

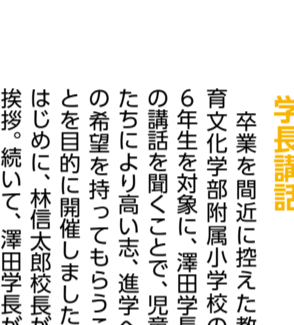
学生が様々な価値観を持つ人と意見を交換し、将来について考えることを目的に、教育文化学部3年次の澤口駿亮さんが発起人となり、賛同した学生ら12名と澤田賢二学長をはじめ教職員数名が参加しました。

澤田学長から「学生の皆さんの意欲や好奇心を積極的にサポートしていきたい」と激励の挨拶があり、続いて澤口さんが同会を立ち上げた経緯や趣旨などを説明。その後、参加者が様々な意見を出し合い、ディスカッションを行いました。

24日
**附属小学校で
学長講話**

卒業を間近に控えた教育文化学部附属小学校の6年生を対象に、澤田学長の講話を聞くことで、児童たちにより高い志、進学への希望を持ってもらうことを目的に開催しました。

はじめに、林信太郎校長が挨拶。続いて、澤田学長が「医学の道」と題して講演し、医学の道を目指したきっかけや医師・研究者として行ってきたことなどを紹介。澤田学長は名医の条件として、「手術の腕」「診察の腕」「人にやさしくできること」を挙げ、附属小学校の校歌が象徴している「やさしさ」を、卒業してから持ち続けてほしいと児童たちにメッセージを送りました。質疑



24日
**平成27年度
一般入試前期日程
合格発表**

手形キャンパスで合格発表が行われ、午後1時に合格者の受験番号が掲示板に貼り出されると、自分の番号を見つけた受験生から歓喜の声が上がりました。また、祝福に駆け付けたアメリカンフットボール部「オーガーズ」のメンバーらが万歳三唱し、合格者を胸上げする姿も見られました。



13日
**秋田大学特別講演
会「理系を目指す
君たちへ」**

潟上市立天王中学校1、2年生約200名を対象に、理系のスペシャリストである小林俊一前理化学研究所理事長・前秋田県立大学長から理科や科学の楽しさ、中学生の時に



3月
March

応答では、児童から「血液型によつて性格や病気のなりやすさに違いはあるのか」「澤田学長の夢を聞かせてほしい」など、多くの質問が寄せられました。講話終了後、澤田学長は児童たちと一緒に給食を食べました。澤田学長は積極的に児童に話しかけ、和やかな雰囲気の中で会食となりました。

行っておくべきことなどについて講演していただきました。

はじめに中村順子保健学科教授がコーディネーターを務め、澤田学長と小林先生との対談が行われました。小林先生からは挫折を経て、そこから這い上がった経験や、自分の好きなものに対する追求が全てのきっかけになったというお話があり、澤田学長からは文学を疑似体験するような本の読み方で自身が豊かになることなどについてお話がありました。

17日
**客員教授
若松節朗氏講演会**

美郷町合併10周年記念事業の一環として、秋田大学客員教授で映画監督の若松節朗氏による講演会「ボク映画監督やってます」映画には生き生きとしたがいっぱい」を開催しました。



28日
**ロケット試験機の
打上実験に成功**

秋田大学イノベーション創出総合機構「秋田宇宙開発研究所」は、秋田県



【お知らせ】「第3回日本聞き書き学校in男鹿」作品集を刊行

この作品集はA5版193ページで、地域創生センターCOC事務局が編集を担当。男鹿市在住で「なまはげ大老」の畠山富勝氏が語り手となり、参加者が聞き書きした内容をはじめ、実際に8名の参加者が聞き書きした内容を記載しています。また、2,000部を作製し、男鹿市内の児童・生徒、県内の図書館、本学と連携協定にある自治体などに無料配布するほか、本学で実施している「聞き書き養成講座」においてテキストとして活用する予定です。

第3回日本聞き書き学校in男鹿とは

文部科学省採択「地(知)の拠点整備事業」として、平成26年8月29日～31日の3日間、男鹿市を会場に実施。全国から約100名が参加し、「はじめての聞き書き学校」「聞き書き実践講座」「聞き書きスキルアップ」などの講座を開講したほか、本学の佐藤稔名誉教授による基調講演、作家で日本聞き書き学校の柳田邦男校長による特別講演を行いました。

美郷中学校、六郷高校の生徒教職員をはじめ町民など約360名の聴衆を前に、助監督時代、裏方の仕事ぶりが大物女優の目にとまり褒められた経験などを例に挙げ、「褒められることで自信がつく、褒めることは大事」と述べました。続けて「映画やドラマには必ずテーマがある。この映画(ドラマ)は何を言いたいんだろう?と考えるともらえれば嬉しい。」と語られました。

また、自身の根底には秋田の原風景がいつもある「自分の住む町を愛し夢を持って飛び立って欲しい。そして何らかの形でふるさとに戻って来てほしい」と生徒達へメッセージを送られました。

ロケットはCFRP製で全長約2.4m、直径約10cm、重さ17kgで、燃料には秋田宇宙開発研究所株式会社型善宇宙航空研究開発機構「AXA」の3機関が開発した低融点熱可塑性樹脂を採用。また、機体材料であるCFRPや無線点火装置、モーターなどは秋田県内の企業が製造したものを使用しました。

教員紹介

Rockを通じた資源開発と環境保全

国際資源学部 資源開発環境コース

准教授 木崎 彰久



新入生の皆さんへ入学おめでとうございます。国際資源学部資源開発環境コースの木崎と申します。岩(Rock)の力学に関する資源開発や環境保全について、そ

の内容の一部を紹介いたします。皆さんは地殻という言葉についてご存知でしょうか？地殻というのは地球の表面の岩石の部分で、数10km程度の厚さがあります。アメリカの映画で地球の中心まで掘り進んで危険なものがありました。現在の技術で工学的に利用可能な深さは数kmまでになります。

場合、大きく分けて3つのテーマが挙げられます。1つ目は、資源やエネルギーを開発することです。すなわち、鉱物・石油・天然ガス・地熱エネルギーなどの地下資源を採取することです。伝統的な資源開発の流れの中では、地質調査や物理探査を通じて発見した地下資源を、岩盤を掘削することによって採掘する部分に当たります。2つ目は、得られた資源やエネルギーを貯蔵することです。原油やLPGの地下備蓄基地などがこれに当たります。3つ目は、資源やエネルギーを使用した際に排出される二酸化炭素や放



ウォータージェット実験の様子



岩石力学実験用の大型材料試験機

射性廃棄物を地下空間を利用して保管・処分することです。このように地殻は、資源開発とともに人類の持続性に関わる地球規模の環境問題の解決に対して重要な役割を担っています。

私達の研究室では、地殻のさらなる高度利用を目的として、地殻を構成している岩石の特性を理解するための実験や岩盤構造物の設計・施工・管理に関する技術開発を行っています。また、これらの岩の力学に関する研究に加えて、ウォータージェットと呼ばれる水噴流を用いた岩盤掘削法の開発も行ってきました。最近では、温泉発電所におけるスケール(湯の華)をウォータージェットを用いて洗浄する技術の開発にも取り組んでいます。実用的な技術を開発することで、自然エネルギーの一つでもある温泉エネルギーの活用にも貢献していければと考えています。

教員紹介

現在と過去との対話

——日本政治外交史

教育文化学部 地域文化学科

地域社会講座

講師

中澤 俊輔



政治学は、社会の問題を解決するために人々が調整と決定を行う、政治のメカニズムを分析する学問です。私はその中でも日本政治外交史を専門としています。国家や政府が大きな力を持つ現代では、政治の決定が人々に及ぼす影響ははかりきれません。一方、現代の国家は人々の支持なくして成り立ちません。国家の発展と衰退、政治の成功と失敗の歴史は、今の政治を考え

るヒントを私たちに与えてくれます。たとえば、現代の政治の重要なアクターとして、政党が挙げられます。戦前の日本でも、政党は組織をつくり、影響力を行使しました。秋田出身の町田忠治は、戦前戦後に二つの政党の総裁を務めています。反面、政府は、政党や結社がその組織力をもって暴走することを恐れました。一九二五年、革命を目指す結社を取り締まる治安維持法が制定されました(つくったのは政党内閣です)。取り締まりはやがて人々の言論にも及びました。結社の暴走を防ぐことと、人権を制限することの間にジレンマが生まれる、悲劇を招いたのです。最近では、今から百年前に

東京帝国大学(現・東京大学)の総長を務めた山川健次郎について研究しています。秋田県公文書館には、山川の日記(写本)が残っています。大学の総長は政治とは縁遠いと思われるかもしれませんが、当時はまだ大学の数が少なく、帝国大学はエリート養成と最先端の学問研究を使命としていました。山川は大学運営にその手腕を振るうだけでなく、教育政策をめぐって政府と協議し、昭和天皇の教育にも関与しました。山川の日記は、帝国大学における総長のリーダーシップと戦前の教育政策のプロセスを知るうえで恰好の材料といえます。

歴史家のE日カーいわく、歴史とは現在と過去との対話です。現在と過去を比較し、歴史を裁くのではなく、今の問題を考える糧とする——歴史を学ぶ意義を踏まえ、教育や研究を通して、社会への貢献を果たしていきたいと考えています。



山川健次郎日記(写本) (秋田県公文書館所蔵)

松田 悟志 講演会 ラジオ放送

夢を叶える



秋田大学での熱いトークをFMで放送!!

放送予定 (FM・秋田県向け) 平成27年5月16日(土)午後6時00分~6時50分

秋田放送局 http://nhk.jp/akita

NHKG

ザ・ラストショット THE LAST SHOT

地上波放送決定!

5月22日(金) 午後7時30分~8時43分

【再放送】

5月23日(土) 午前10時05分~11時18分

総合・東北ブロック

永井 大 松田悟志 白田あさ美

教員紹介

乳腺外科の
ミッションとビジョン

大学院医学系研究科 医学専攻

地域がん包括医療学講座 助教 伊藤 亜樹



がんが増えていきます。その中でも女性のがんで最も頻度が高いのが乳がんです。

私は現在乳腺外科の医師として大病院に勤務しておりますがこの秋田においても毎年多くの女性が乳がんにかかっています。多くの命が奪われています。私の第一の使命は乳がんで悲しむ人を可能な限り少なくすることです。乳がんと一言で言っても進行度や悪性度などはさまざまです。現在の治療は腫瘍の大きさやリンパ節転移、遠隔転移などの解剖学的特徴に加え、治療感受性

や悪性度などの生物学的特徴を踏まえた「個別化治療」が一般的であり個々で治療法が全く異なります。それに加えて患者さんの希望や心理的側面、経済状況なども反映させてどうしたらその人がより良い道を進めるかを常に考えて診療に当たっています。

第二の使命は大学人としての使命です。乳腺外科はアップデートも激しく一生懸命勉強しないと大変です。ただ学生さんには学問的な知識を教えるのみではなく、少しでも乳腺外科の楽しさややりがい、必要性をわかってもらおうべく指導に当たっています。私達を取り巻く医療環境は決して良好とは言えませんが、地域医療に貢献することの素晴らしさを

伝えていきたいと思えます。また、可能であれば軸をもって研究に取り組みることが理想であり今後の課題です。

第三の使命は社会貢献です。みなさんは「ピンクリボン」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。ピンクリボンとは乳がんについての正しい知識を広め早期発見を推進する運動のシンボルマークのことで、秋田県でも秋にキャンペーンを行い市民のみならずに関心を持っています。私自身はまだまだ半人前でいろいろなことで至らない気持ちでいっぱいになることもありますが、目の前の患者さんであつたり自分の



ピンクリボンキャンペーン

教員紹介

先導的な技術に情熱を注ぎ
秋田から世界へ発信

大学院工学資源学研究所電気電子工学専攻

光・電子デバイス工学講座 講師

秋田大学イノベーション創出総合研究機構
あきた環境発電住宅研究所所長
秋田県LED機器研究会会長 河村 希典



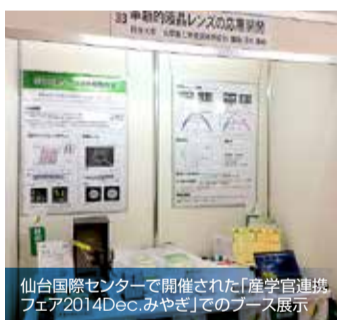
国連総会で2015年を「光と光技術の国際年」と

することが宣言されました。昨年は照明に広く普及している青色発光ダイオード(LED)の発明に対して、日本人3名が2014年ノーベル物理学賞を受賞したことは記憶に新しいところです。今後、日本のキラリと光る最先端技術が人類のため、国際競争に負けない、明るい未来を照らしてほしいものです。

私は、機械的駆動部を必要とせず、焦点距離を電圧により変えることができる液晶レンズと、分割電極をもつ液晶マイクロレンズアレイについて研究を行っています。また、それらを用いた光ピンセット装置への応用、光計測装置への応用、遠赤外線領域の液晶光学素子、連続的に焦点画像を得ることが可能な3次元光学顕微鏡システムの研究を行っています。液晶を用いた光学素子は小型、軽量、薄型、低消費電力駆動が可能であることから表示素子に広く使われていますが、最近ではディスプレイ用途以外の液晶の応用が注目されています。

また、私は秋田県LED機器研究会、秋田大学イノベーション創出総合研究機構あきた環境発電住宅研究所で、LED機器等の技術や市場動向に関する情報の収集、市場進出に向けた課題の検討等を行っています。そして秋田県、財団法人等の補助金を得て、秋田県水産振興センターとのプロジェクトを立ち上げ、県魚であるハタハタのLED光に蝟集させる方法、種苗育成に関する対応策についても構築しました。また、産学官連携で立ち上げたあきた環境発電住宅コンソーシアムでは、LEDと有機EL照明機器を制御するシステムの開発を行っています。

さらに、国土交通省東北地方整備局と共同研究を行い、湯沢横手道路の二部区間に可視レーザ式外側線指示



仙台国際センターで開催された「産学官連携フェア2014Dec.みやぎ」でのブース展示

NHK秋田放送局 人口減少を考えるキャンペーン

2040

“70万人社会”と向き合う
~秋田の未来を考える元年~

人口減少が日本で最も速く進む秋田県。2040年には人口が70万人を割ると推計されています。そして、高齢者の割合は40%を超え、小中学校・高校の児童や生徒は現在の半分になると見込まれています。ただ、そうした中でも地域社会を守り、地域に暮らし続けることはできるはず。NHK秋田放送局は、新しい地方を創生していくための知恵を、みなさんと一緒に考えます。

ご意見募集

メールフォーム 特設サイトから!
http://nhk.jp/akita

FAX 018-837-8199

ツイッターハッシュタグ #nhk_akita2040

■平成22年・平成52年の人口ピラミッド

平成22年(2010年) → 平成52年(2040年)

※社団法人が平成25年に公表した平成25年(2040年)の人口推計像を基に、本県の人口ピラミッド(5歳区分)を作成した。

新世代が解く!

ニッポンの
ジレンマ

Eテレ 僕らの希望論

放送予定

平成27年
5月31日(日)
午前0:00~(予定)
《Eテレ・全国》※30日(土)深夜

国際教養大学での熱い議論!秋田から
地方の未来を本気で考えてみよう!

古市 龍海(社会学者)

青井 実アナウンサー

国際教養大学准教授
豊田 哲也

A p r i l 2 0 1 5 . 0 4

先輩なう。

秋田県立比内養護学校
教諭◆教育文化学部 障害児教育選修
平成23年3月卒業

田中 拓弥さん

「教育」で学び、秋田を支える
OB&OG編

様々な現場で活躍している秋田大学OB・OG。先輩の「今(=なう)」取材しました。

◆教育文化学部 国際言語文化課程
平成23年3月卒業

三浦 さくらさん

株式会社北都銀行
御所野支店 銀行員

今の仕事内容、やりがいを教えてください。

特別支援学校の教諭として、授業や課外活動などの場面で、個々の児童・生徒に合わせたサポートをしています。また、陸上部顧問も担当していて、現在指導している生徒は高体連で好成績を残すなど、そのような頑張りを陰ながら支えています。

やりがいとしては、普段の学校生活や地域の方々との交流など、学内外での活動を通じて子どもたちが生き生きとしている姿を見ると嬉しく感じる点ですね。児童・生徒一人ひとりがもつ個性を最大限に活かせるように導いていくことを求められる大切な仕事だと思っています。

今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

姉が特別支援学校の教員であったことや、自分自身が元から子どもが好きだったこともあり、教員になりたいとの思いで秋田大学の教育文化学部に進学しました。そのなかで教員志望への思いを決定付けたのは、教育実習で出会った先生でした。その先生の常に明るくポジティブな人柄や、子どもたちを本当に生き生きとさせる授業展開を体験したことで、教員として働きたいという気持ちが確固たるものになりました。



秋田大学での学びが、現在どのように活かされていますか。

やはり教育実習で得た多くの知見が、実際の仕事における様々な場面で活かされていると感じます。加えて、教員養成講座(スタージュ)をはじめ、大学で学んだ種々の知識は、重度重複化傾向を示す現代の障害を取り巻く状況にあって、どのような支援教育をしていけばいいのか、という方向性を見付けることに役立っていますね。実際の仕事においても、様々な障害理解につながっていると思います。また、障害児教育選修でのボランティア活動や、学習塾、児童相談所などでのアルバイトの経験も、子どもと向き合う場面で大いにプラスになっています。



目指す教師像を教えてください。

先にお話しした教育実習で出会った先生は、今でも目指したい教師像のひとつです。また、この学校にいらっしゃる先生方の中でも目標としたい先生に何人も出会い、その指導方法や学校経営に至るまで、多くを学ばせてもらいました。子ども

たち一人ひとりが持つ「光るもの」をしっかりと活かし、周囲に発信できるようなサポートを行っていきたいと思いますし、そういったサポートを通じて、特別支援を受ける子どもたちの正確なイメージを伝えられるような教員になっていきたいですね。

後輩にメッセージをお願いします。

私は社会人になって、「大学時代にもっと様々なことに広く挑戦しておけば」と非常に後悔しています。自分が志望する仕事に関係する以外のアルバイト等も経験しておけば、働く上でも視野を広く持てると思います。障害児教育選修の学生さんは、様々なボランティアに参加して、ただ参加するだけでなく、その体験を通じてそれぞれの教育に対する考え方を形成してほしいと思います。さあ、家で寝てないで外に出ましょう!

今の仕事内容、やりがい、また仕事を通じて目指していることを教えてください。

預金・融資・為替などの銀行窓口業務と個人のお客様をメインとしたコンサル業務を行っています。NISA(ニーサ)【少額投資非課税制度】が開始されてから、個人の資産運用の相談が増えてきていますが、まだ自分には関係ないと思っている方も多いです。そのような方に少額で始められる運用などの情報提供を兼ねた周知の活動に力を入れています。地方銀行は地域密着していることが強みです。お客様との関わりの中で、「何が必要か」「銀行として何が出来るか」を見つけていける銀行員になりたいと思います。



今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

銀行に対して、「堅い」「冷たい」という漠然としたイメージが学生時代にありました。そのなか、就職活動中の企業合同説明会でショッピングモールに銀行の支店ができ、土日や5時以降の営業も行っているという話を聞きました。今まで抱いていたイメージよりもお客様により身近で、暖かいものを感じたことがきっかけとなり、銀行員を目指しました。

秋田大学での学びが、現在どのように活かされていますか。

国際言語文化課程として、欧米の文化や英語、第二外国語などを学んできました。今の支店では、留学生の方など外国のお客様とお話をする機会が多いです。その中で、大学時代に身につけた英語を活用して案内やコミュニケーションをしています。

北都銀行様がやっている女性活躍への取り組みについて教えてください。

女性活躍推進室があり、女性の能力を最大限に発揮できるようサポート体制がしっかりとしています。女性の上司が増えてきているため、女性特有の悩みやキャリアについての相談をしやすい環境です。相談し、思いを口に出すことで目標が明確になります。また女性の活躍が目目されていますが、男性の上司とのコミュニケーションも円滑であり、性別問わず働きやすい環境です。



後輩にメッセージをお願いします。

大学にいる間の学びも重要ですが、視野を広げるために様々なことにチャレンジをしてください。また、友人とのつながりを大切にしてください。社会に出ると、学生時代の友人との時間はなかなか取れませんが、



学生うちに友人と旅行などをして、いろいろな世界をもっと見てください。自分一人で見るとは、友人と一緒にいるからこそ見える世界があり、ますます視野が広がるはずですよ。

僕らの課外活動

混声合唱団A.Choir(エース・クワイア)

●代表/ 齊藤 遊子さん(医学部保健学科4年次)



第43回定期演奏会で演奏した「絶望のスパゲッティ」

プロフィール

- 所属人数/17名
- 練習日時/毎週月・木曜日17:00~20:00
- 練習場所/主に学生会館2階 研修室1・2
(他は、明徳地区コミュニティセンター、
学内インフォメーションセンター等)



「第26回国民文化祭・あきた2014 合唱の祭典」に参加しました。

【「A.Choir(エース・クワイア)」の由来】

今年で創立52年目になります。学生有志で「うたおう会」を設立したことがはじまりで、途中から「一番の聖歌隊」という意味を込めた「エース・クワイア」という名前に変わりました。

【平成26年度の主な成績】

- 第50回全日本合唱コンクール秋田県大会 金賞
全日本理事長賞・最優秀賞
- 第66回全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞
- 第29回AKITAヴォーカル・アンサンブル・コンサート 金賞

【活動内容】

定期演奏会とコンクールを活動の柱とし、学内外でのコンサート、小中学校での招待演奏など様々なフィールドで活動を行っています。昨年は国民文化祭が秋田で初めて開催され、開会式や合唱の祭典など、様々な出会いの中で音楽の素晴らしさを再認識することができました。これからも私たちの合唱で、秋田県のみならず全国に元気を届けていきたいです!!



音楽専用ホールにて、パイプオルガンを背景に演奏。

【チームの特徴】

とにかく歌うことが大好きな集団です。経験は問いません。ここだけの話、最初は楽譜も全く読めない団員もたくさんいます。出身地も全く異なり、練習場では様々な地方の方言が飛び交っています。休憩中も誰かが歌い出せば、他の誰かがそれにハーモニーをつけるなど、そこに仲間さえいれば音楽を生み出すことができる楽しみを存分に味わっています♪

【新入生へ向けてのメッセージ】

卒団される先輩方が口々に言うのは、「エースに出会ってなければ自分はこんなに成長してなかった。社会勉強も青春もできて、本当に楽しかった」という言葉です。運営も音楽も、何事も楽しんで取り組むのがモットーです。様々な経験ができるので、就職活動でアピールできること間違いなし。歌好きの方!青春したい方!ぜひ一度、練習に遊びにいらしてください!お待ちしております♪



4月に行われた春のコンサート

柔道部

●代表/ 松本 拳弥さん
(教育文化学部 学校教育課程4年次)

プロフィール

- 所属人数/11名
- 練習日時/月~金曜日 7:30~16:00~
土曜日 8:30~
- 練習場所/大体育館柔道場

【平成26年度の主な成績】

- 第31回東北国公立大学柔道大会 男子団体優勝
 - 平成26年度東北学生柔道優勝大会 準優勝
 - 平成26年度東北学生柔道体重別団体優勝大会 第3位
- 平成26年度も全日本学生柔道優勝大会(以下、春インカレ)と全日本学生柔道体重別団体優勝大会(以下、秋インカレ)に出場。春秋インカレには毎年出場し、計30回ほどになります。

【チームの特徴、チームワークの秘訣】

練習と休憩のメリハリをしっかりつけているチームです。練習の時はお互いが仲間でありライバルでもあるため、一切手を抜かずお互いの技を高め合えるよう日々稽古に励んでいます。練習以外の時は、上級生・下級生関係なく、仲が良く明るい雰囲気です。また、全日本柔道連盟のジュニアコーチ経験もある三戸範之監督(教育文化学部教授)が指導して下さるレベルの高い練習によって、身体・精神を鍛えることができています。



3月に県内の高校生と合同で練習を行いました。



柔道部の皆さん

【団体目標】

東北学生柔道優勝大会、東北学生柔道体重別団体優勝大会で団体優勝し、春秋インカレに出場します。私立大学の強豪校に負けず、1つでも多く勝ち上がりたいです。

【新入生に向けてのメッセージ】

スポーツに夢中で取り組める時期が大学時代だと思います。練習は楽ではなく、つらいことも多いです。ですが、秋田大学柔道部は部員一同仲が良く、困ったときやつらいときは励まし助け合っています。努力し、目標を達成したときの喜びはかけがえのない経験になります。一緒に心身ともに向上を目指す、やる気のある新入生を待っています。



三戸監督からの指導の様子

イベント&講座・講習会

平成27年度 鉱業博物館企画展

「山本作兵衛と筑豊の炭鉱」

— ユネスコ世界記憶遺産が語る近代炭鉱の光と影 —

- 4月30日(木)～6月28日(日) 9時～16時
- 鉱業博物館
- 入館料/大人100円、高校生以下無料
- ※入館料のみでご覧いただけます。

☎ 018-889-2461 (鉱業博物館)



秋田大学 地域交流朝市

秋田大学と連携協定を締結している7つの自治体の特産品を、秋田大学の学生が地域の方々と一緒に販売します。

- 5月23日(土) 8時～11時(売り切れ次第終了)
- 手形キャンパスインフォメーションセンター前広場 (露天時総合研究棟1・2講義室)
- 参加自治体/北秋田市、潟上市、男鹿市、仙北市、美郷町、横手市、東成瀬村(秋田大学連携協定締結市町村)

☎ 018-889-3201 (地域創生課)

平成27年度 秋大憩いのコンサート

- 【第56回】● 5月23日(土) 14時
ドイツリートとピアノの春の調べ。
- 【第57回】● 6月27日(土) 14時
フルートとピアノによるフランス音楽の愉しみ
- 【第58回】● 7月26日(日) 14時
学生によるフレッシュ・コンサート

- 手形キャンパスインフォメーションセンター
- 入場無料
- ☎ 018-889-2647 (教育文化学部 斎藤准教授)

北極プロジェクト 活動中

工学資源学部 生命化学科 4年次 千葉 芳文



阿部さんとプロジェクトメンバー



北極と秋田大を結ぶプロジェクト(通称・北極プロジェクト)は、秋田大学の卒業生で冒険家の「夢を追う男」阿部雅龍さんと学生有志が集まって設立しました。現在は北極圏単独旅行1000kmに向け出発した阿部さんと衛星電話で話し、緯度と経度や気象情報を教えていただき、阿部さんがどこでどのような状況なのか分かるようにプロジェクトのフェイスブックを随時更新しています。また、北極の阿部さんと秋田大学をインターネット電話スカイプで繋ぎ、北極圏で生活しているイヌイットの方や現

地の先生として働いている方から、現地を抱えている教育問題や諸問題を話していただき、生の声を聴くことにより、秋田に住んでいるだけではわからない知識や知見を得て、これからの人生に生かしていくことを目的としています。

3月8日に第一回目の北極とのスカイプ交信を行いました。この交信までに、質問内容をまとめること、北極やイヌイットの基礎知識を学ぶなど、やるべきことがたくさんありました。阿部さんにも日本出発前に何度も秋田大学へ足を運んでいたいただき、プロジェクトのメンバー



スカイプ交信の様子 千葉芳文さん(後列中央)

省点を生かして更に良いものにしていきたいと考えています。特に、今回は春休み中の開催ということもあり、学生間のミーティングの回数が少なかったと感じたため、これからは自分がまとめ役として通信の内容をより濃くする努力をしていきたいと思えます。

Column 文章力UP



原稿用紙5枚の童話に挑んだことがあります。こんなに苦しんだ文字書きは初めてでした。新聞記者文章の「悪い癖」かもしれないが、書いていこううちに説明調になってしまふのです。こうなると、私の文章の稚拙さが、物語を陳腐なものにしてしまいま

す。読み手の世界を広げないのです。事実(出来事)を淡々と伝えることも大切ですが、極端な説明は時に、想像する(考える)力を押しさえ込んでしまいます。

限られたスペース(文字数)で、全ての情報を盛り込み、思いを伝え切ることは不可能です。エンタリーシートでもそこは同じです。あなたという存在と、そして将来の姿を「想像(期待)させるデータや場面をいかに選択して盛り込むか。就活という、現実的な世界の入り口は、意外と童話のロマンに通

じるのかもしれない。いま話題のグローバル人材。あなたが仮に、世間がもてはやす「国際人」だとエンタリーシートで訴える時に、文章ではどう表現しますか。

例えば食事の作法や、意思表示の仕方に。できるだけ日常に近いところから。○どんな時に涙ができましたか? 異文化で、苦しかったこと、嬉しかったこと。喜怒哀楽に伴う「涙」を舞台回しに表現すると。

○日本の文化や歴史を伝えられましたか? 語学力の問題ではなく、何を伝えるべきかを意識できましたか。

きりがありませぬね。でも、共通していることがあります。グローバル化のよきな漠然としたテーマの場合も、常に「日本(故郷)」が立ち位置となり、「人」への興味や優しさが伝わってくる表現に触れると、それだけで魅力的であると

秋田大学副理事・国際担当

(元朝日新聞記者) 高橋 康弘

第50回今日歩大会

男鹿半島の寒風山山頂から秋田大学まで40.3kmの道のりを、夜を徹して歩き切ります。歩くことを通じて健康増進を図るとともに、秋田大学の学生と一般参加者の交流を深めるという主旨のもと、大学関係者だけではなく一般の参加者も募っています。

● 5月23日(土)～24日(日)
● コース／寒風山(スタート)～天王～土崎～外旭川～秋田大学(ゴール)

● 対象／秋田大学の学生及び教職員、一般参加者(高校生以上)
● 参加費／秋田大学の学生(体育会会員)2000円、秋田大学の学生(体育会会員以外)及び教職員3000円、一般参加者3500円

● 要申込 ※5月8日(金)まで
☎ 018-889-2255(学生支援課)

秋田大学混声合唱団A.Choir
第44回定期演奏会

● 7月4日(土)13時30分開場 14時開演
● アトリオン音楽ホール(秋田市中通2丁目3の8)
● 入場料／1000円(高校生以下は無料)
☎ 080-1849-7078

秋田大学オープンキャンパス2015

● 8月1日(土)
☎ 080-889-2256(入試課)



秋田大学広報課
公式Twitter

秋田大学の旬な情報を
随時お届けしています。



秋田大学広報課 ツイッター 検索

在学生紹介 /

スノースポーツを通じた 地域貢献へ

学生自主プロジェクト「シュウダイWAXぷろじえくと」代表
齊藤 亜由子

工学資源学研究所 生産・建設工学専攻 博士後期課程2年次

シュウダイWAXぷろじえくとは、「秋田の雪質に合わせたオリジナルスノースポーツを開発し、秋田県のスノースポーツ振興の一端を担う」ことを目的に、平成26年度発足しました。WAXを開発するだけではなく、開発したWAXを使った県内スキー場でのWAX体験会、各種大会におけるワックスングサービスを実施し、プロジェクトメンバーが直接一般のスキーヤー、スノーボーダーさんへWAXの大切さや面白さを伝えることで、より多くの方々にスノースポーツへの関心を高めてもらうことができると考えています。

スノースポーツ愛好者にとつて必須アイテムとなります。スプレータイプの簡易WAXを使ったことがある方も多いと思いますが、スプレー以外にも市販品WAXには用途や形状の違いにより、液体・粉体・固形状タイプなど非常に多くの種類が存在します。プロジェクト発足1年目の昨年度は、一般の方から「レジャーまですべての方が使用する固形状タイプの「ホットWAX(専用のアイロンでソール内部まで浸透させるタイプ)」と「生塗りつけるタイプ」の2シリーズの開発に取り組みました。ホットWAXシリーズは秋田県内スキー場の雪質に合わせて3種類、生塗りWAXシリーズは乾雪用と湿雪用の2種類を開発しました。

試作品の広報活動では、大仙市協和スキー場のご協力のもと、シュウダイWAXサービス体験会をシーズン中に2回実施することができました。フェイスブックの告知や、スキー場にポスターを掲示させていただき、両日共に約50名の方々に来場していただくことができました。体験会では開発したWAXの中から当日の雪質に合ったWAXを選定し、お客様の板にワックスングしました。そして体験されたほぼすべてのお客様から「好評を得ることができました。今年度はさらに改良を重ね、商品化を目指します。本プロジェクトの活動そのものが「スノースポーツを通じた地域貢献」となるよう努力していきますので、応援よろしくお願ひします。



ともに世界へ。

Harbor business

Warehousing business

International complex transportation service

秋田港・船川港・能代港の港湾運送、通関、倉庫、国際複合輸送サービス

秋田海陸運送

www.kairiku.co.jp

秋田大学みらい創造基金 ご協力をお願い申し上げます。

秋田大学は、これまで多くの皆様からご協力いただいた「秋田大学教育研究支援基金」を引き継ぎ、平成26年11月「秋田大学みらい創造基金」を創設いたしました。

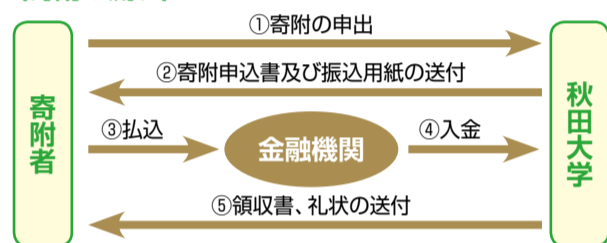
この基金は、全学的な事業を支援する「一般基金」と用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

〈ご寄附のお願い〉

- 個人の方：一口 1,000円
- 法人の方：一口 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口のご協力をお願いいたします。なお、継続してご寄附をいただける方は基金事務室へご連絡をお願いいたします。また、物品や不動産のご寄附も受け付けております。基金事務室へお問い合わせください。

〈寄附の流れ〉



秋田大学みらい創造基金は秋田大学公式ホームページからお申し込みいただけます。 [秋田大学 みらい](#)

教育の質の向上及び研究の推進支援

1 横断的な教育・研究プロジェクトへの支援、次世代の研究を担う研究者の学際的・国際的な活動への支援、男女共同参画への支援等を行います。

学生への奨学金等支援

2 学生、留学生への経済的支援、学生・団体への課外活動支援、教育文化学部附属学校園の活動支援を行います。

教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援

3 秋田大学が持つ人的・物的資源を活用し、国際社会・地域社会で多様な形で行われる活動を支援します。

卒業生・産業界等との連携支援

4 ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。秋田大学の教育研究環境を活用し、多くの企業と共同で行う活動を支援します。

学部等への支援

5 学部・大学院等の教育研究の充実のため、機器、学術図書・雑誌等の充実・整備を図ります。

施設・環境整備の充実

6 教育研究環境をより発展的なものとするため、校舎や図書館、グラウンドなどの改修や整備を行い、キャンパス環境を充実させます。

〈寄附者ご芳名〉

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【企業・団体等】

- 秋田大学生協同組合 様
- 秋田海陸運送株式会社 様
- イービーアイ株式会社 様
- 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 様

【個人】

- 児玉 隆夫 様
- 石塚 真人 様
- 澤田 賢一 様
- 四反田 素幸 様
- 小川 信明 様
- 吉岡 尚文 様
- 柳橋 雪男 様
- 山本 文雄 様
- 渡部 良和 様
- 大川 卓男 様

他 匿名希望 7名様
(平成26年11月～平成27年3月末 申込順)

〈お問い合わせ先〉

秋田大学 みらい創造基金事務室
〒010-8502
秋田市手形学園町1番1号
☎018-889-3266 (総務企画課内)
kikin@jimu.akita-u.ac.jp



Innovation that excites

きらめく未来へ 夢をのせて...

日産サテリオ秋田

www.satio-akita.co.jp

NEW >

X-TRAIL
HYBRID



SKYLINE



NOTE



SERENA



DAYZ



定休日 / 毎月第一月曜日・毎週火曜日 営業時間 / AM10:00～PM7:00